

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	産官学連携信州モデルづくり事業
事業主体 (連絡先)	伊那谷アグリイノベーション推進機構 事務局 (長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部内 電話 0265-77-1523)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 (農業の振興と農山村づくり、森林作りと林業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	748,883円 (うち支援金: 369,000円)

事業内容

- シンポジウムの開催
 - 平成27年7月30日「健康長寿社会を目指して～長寿日本一の強みを活かした地域づくり～」南信州・飯田産業センター 参加者 110名
 - 平成27年12月11日「伊那谷の農産物をみなおそう！」長野県伊那文化会館 参加者 130名
 - 平成28年2月4日「中山間地域の埋もれた資源の活用について」養命酒製造(株)駒ヶ根工場 参加者 110名
- 体験講座の開催

平成27年11月12日「伊那谷の景観と会員事業の様子を体感しよう」アグリネチャーいいじま他 参加者 30名



【シンポジウムの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- シンポジウムの開催

合計参加者数は 350 名。各テーマへの関心の高さが伺え、「健康長寿」の観点から長寿日本一の強みを活かした新たな産業の創出や、「特産物」・「未利用資源」を活用したアグリビジネスの創出といった、地域ならではの産業創出に向けて、更なる産官学のマッチングの必要性が再確認できた。
- 体験講座の開催

地域の特性を再確認するとともに、景観をも含めた産業展開について、相互理解し、ディスカッションする良い機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域の強み・結びつきの活性化を図ることが、最も有効であることを再認識した上で、次年度以降、実行力がある産官学連携の取組として、「健康長寿社会」「地域の食材」「中山間地域の資源」等をキーワードに、それぞれ研究会等を立ち上げ、引き続き、企業及び県・自治体、教育研究機関との連携を進めていく。

同様のシンポジウムや体験講座を継続して企画していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ① 新たな産業創出の地域づくり
- ② 地域資源の認識度向上

※自己評価【 A 】

【理由】

- ① シンポジウム参加者数が予定数(300名)を上回った
- ② 地域資源活用意識の向上が図れた